

## 極東開発工業株式会社によるベーンポンプの自主改善の実施について

極東開発工業株式会社から、補修用部品として販売した危険物（灯油・軽油）配送用タンク車用のベーンポンプに不具合があることが判明したため、以下のとおり自主改善を実施する旨の報告がありましたので、お知らせします。

自主改善開始日	平成25年 5月 8日
不具合の内容	危険物（灯油・軽油）配送用のタンク車において、極低温時のベーンポンプ内軸シールの性能評価が不十分であったため、極低温状態では軸シールの追従性が悪くなり、シール性能が低下するものがある。そのため、極低温の環境下で、危険物の排出操作を行うと、ベーンポンプにより加圧された危険物が軸シールからベーンポンプのベアリング部に浸入し、ベーンポンプのリリーフフィッティング部から漏れだし、最悪の場合、漏れた危険物が、排気管等の高温部に付着することで発火し、車両火災に至るおそれがある。
改善の内容	ベーンポンプを対策品に交換する。
クレーム件数	0件
事故の有無	なし
使用者に周知させるための措置	・使用者：弊社ホームページに掲載し周知を行う。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。

対象の製品名	型式	自主改善対象製品の製造番号と製作期間	自主改善対象数	備考
ベーンポンプ	VD09-80A	21M21～32M25 平成24年1月～平成25年2月	90	対象架装型式 LS02-30、LS03-30、 LS04-30、LS05-30、 LS06-30、LS07-30、 LS08-30
合 計			90個	

備考：当該部品を使用している車両が特定できたものについては、同日付けでリコール届出「リコール届出番号3150」を行います。

## 【注意事項】

上表の製造番号の範囲には、対象とならない製品も含まれております。

ベーンポンプの製造番号が該当する場合は、お手数ですがタンク車の製造番号銘板の製造番号をご確認いただき、お問い合わせ窓口までご連絡をいただきますようお願い致します。